

各部会報告資料

- ・子ども部会（P1）
- ・就労部会（P2）
- ・相談支援部会（P3～4）
- ・精神障がい者地域移行支援部会（P5）

平成27年11月20日

熊本市障がい者自立支援協議会

平成 27 年度 第 3 回熊本市障がい者自立支援協議会
子ども部会 実績報告

【活動状況】

1. 今期は、部会初めての試みとして、昨年開校した熊本県立かがやきの森支援学校の見学会に子ども部会として参加した。かがやきの森支援学校は、医療的ケアの必要な子どもたちをはじめ比較的障がいの重い子どもたちの安心、安全な教育環境をめざして作られただけあって、環境、設備ともすばらしく、これからも増え続けるであろう重度の障がいの子どもの教育に期待が高まる場所である。
2. また、9月には熊本市ひきこもり支援センター「りんく」、10月には熊本市児童相談所、11月には教育相談室の職員を招き、それぞれの事業内容や現状について話をうかがった。

開催月	活 動 内 容
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告… 放課後等デイサービスに関する提案書の本会議提出の報告 ○ 説明… 「ICカード」の導入について(障がい保健福祉課より説明) ○ ミニ研修… 熊本市ひきこもり支援センター「りんく」について ○ その他… 熊本かがやきの森支援学校視察見学会の報告及び感想 (参加者より)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミニ研修… 熊本市児童相談所について ○ その他… 困難事例の共有及び意見交換
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 余暇支援マップ作り(グループワーク) ○ ミニ研修… スクールソーシャルワーカーについて

【今後の活動予定】

○ 毎回 1 時間 30 分の活動の中で、時間配分が難しく放課後余暇支援マップ作りに十分な時間が取れないのが現状。次回からは、余暇支援マップ作りのグループワークを先に行い、形になるようペースを上げていきたいと思っている。

○ 子どもに関する制度や事業も増えてきているので、ミニ研修もその都度考えていきたい。

開催月	
11月～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ◇ミニ研修 ◇余暇活動支援グループワーク ◇困難事例検討

平成27年度 第3回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

今年度の取り組みについて

【各作業班の計画及び進捗状況】

- 企業就労班** i) 障がい者雇用をしている企業の事例を掲載した情報誌の作成（「しごといく Vol.4」）
→4企業の取材を終え編集中
iii) 企業セミナーの開催（平成28年2月予定）
- 福祉施設班** i) 福祉サービス事業所（A型事業所）の自己評価表の作成
ii) 事業所間の連携を深め工賃アップを目指すための内覧会・商談会の開催（平成28年2月予定）
→内覧会・商談会の説明会を実施（10月1日）
- 当事者班** i) 当事者の方々の夢を実現する取組を実施（ラジオ放送）
→仮収録中（12月に本番収録予定）
ii) 学校訪問による障がいに関する意識調査を実施予定（11月中に実施予定）
iii) 研修会の開催（平成27年2月予定）
- システム班** i) システムの開発
→各施設を紹介する「施設プラグ」開設の説明会を実施予定（11月16日）
ii) 他班とのコラボレーションを企画
iii) 就労部会の取組についての広報活動
→ホームページを開設

【ミニ研修】

- 9月：若年性認知症の人との家族の支援（若年性認知症支援コーディネーター・太田千里氏）
11月：熊本市ひきこもり支援センター「りんく」の取組について（りんく所長・伊津野晋平氏）
*10月は参加者の就労部会に関するアンケート調査を実施

今後の計画について

- ・12月に各班より中間報告を行う
- ・平成28年2月23日（火）に各班合同で当事者とサポーター（企業や施設）を対象とした「就労フェア」を開催予定

運営委員会の設置

各班のリーダー・サブリーダー、事務局である障がい保健福祉課とくまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁で構成された運営委員会を設置しております。昨年度に引き続き、運営委員会を中心に就労部会の状況に合わせたミニ研修を企画し開催しております。

平成 27 年度 第 3 回熊本市障がい者自立支援協議会
相談支援部会報告

開催日時 第 3 水曜 15:00～17:00

参加者：熊本市内の委託相談支援事業所、指定特定相談支援事業所、行政職員等

○相談支援部会の取り組み内容

27 年度は 3 班に分かれ、それぞれの目的、役割を持ちながら取り組む。

- ①福祉サービスを考える班
- ②情報更新班
- ③ワークショップ事例検討班

※毎回行政及び各事業所からのインフォメーションを行い情報の共有を図っている。

※隔月に部会前半で事例検討ワークショップを行っている。

① 「福祉サービスを考える班」

内容：熊本市の現在の福祉サービスの状況・問題点等を、実際にサービスを調整しているそれぞれの立場から意見交換を行っている。

2 グループに分かれ、テーマを決め課題を抽出・検討をしている。

計画相談対応での現状課題を上げるために、参加事業所へ障がい福祉サービスについてアンケートを実施し検討テーマを絞っている。

今年度に入り取り組みを始めた班ではあるが、検討を行う中で取り扱うテーマ等についても再検討が必要だろうとの意見も出ている。今後は協議する課題については行政とも相談をしながら検討をしていきたいと考えている。

② 「情報更新班」

内容・くらし部会から引き継ぎ事項の更新(グループホーム情報、ヨカ余暇情報便利帳)

- ・ Q & A、ハンドブックとマニュアルの更新を検討中。
- ・ 子ども部会で余暇支援マップ作成を予定されているので、情報依頼が重複しないように調整を図りながら情報収集を行っている。

グループホーム情報については、KP5000 の「住まいプラグ(グループホーム空き情報システム)」に移行。10/21 にグループホーム事業所への説明会を行い、賛同を得た

事業所より順次掲載。詳細なグループホーム情報・空き状況は一般の方も閲覧できるようにしている。

② 「ワークショップ事例検討班」

内容：相談支援専門員の技術的なベースアップを図る事を目標に、事例検討班で作成した架空の障害者の事例を数名のグループに分かれ、ワークショップを行う。

具体的には精神障がい者、身体障がい者、児童・発達障がい児のケース（アセスメント）を、事例検討班スタッフのそれぞれの事例情報を持ち寄り、合成・架空の情報の追加を行った上で1事例を隔月で作成し、翌月にその情報を基にグループに分かれ、課題の抽出、サービスの組み立て等の実践的なトレーニングを行っている。

今年度初めての取り組みで、当初は戸惑いが見られたが、現在は事例作成もスムーズであり、①新人とベテランの交流・実践的なアドバイスを行える ②架空の事例である為、情報をそれぞれの事業所に持ち帰ることが出来る為、相談支援部会に参加できない他の相談支援専門員の育成に役立てる事が出来る。等のメリットが挙げられている。次年度以降も新人育成・技術力の向上の為、このワークショップは続けていく予定にしている。

平成 27 年度 第 3 回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会（障がい者自立生活体制検討会）報告

【これまでの取組】

- 1 「平成 27 年度長期入院精神障がい者の地域移行に関する意向調査」について（概要）
 - ・ 目的：長期入院中の精神障がい者のニーズを調査し、今後の事業の方向性を検討する。
 - ・ 対象：市内精神科病院に入院中の精神障がい者であり、1 年以上入院されている患者（主病名が認知症を除く）の中から抽出（各病院 20 名程度）
 - ・ 方法：各病院に勤務する精神保健福祉士等のヒアリングにより実施。調査期間は 10 月～11 月初旬。データを部会で集計・分析し、結果を本会議にて報告する。

- 2 研修会・意見交換会の開催

部会参加者を対象に、下記の内容で報告・研修・意見交換を開催。

開催日	テーマ	内容・参加状況
8 月 12 日	ピアサポーターの活動報告・意見交換	内容：ピアサポート活動報告と感想、リハビリ体験の発表 講師：「ピアサポートくまもと」よりピアサポーター 3 名
9 月 9 日	看護の視点による地域移行・地域定着支援について	内容：病棟看護（急性期病棟・療養病棟）、訪問看護の立場による実践報告 講師：弓削病院 金子真紀氏 くまもと青明病院 俣崎希代子氏 訪問看護ステーションらいふ 福岡秀彦氏
10 月 14 日	相談支援事業所の活動報告	内容：委託相談支援事業所、指定相談支援事業所の実施体制・実施状況報告、意見交換 講師：熊本市障がい者相談支援センターなでしこ 大山満子氏 熊本市障がい者相談支援センター光 東美希氏

今年度は医療と地域の連携をテーマに意見交換を続けており、各回とも報告後にグループワークを実施。医療機関と地域関係者のグループに分かれて連携の方法、事業の活用等について意見交換を行った。

【今後の予定】

○研修会の開催

- ・ 高齢入院患者地域支援事業の経過報告
- ・ 地域移行支援のポイントと事例紹介

○「平成 27 年度長期入院精神障がい者の地域移行に関する意向調査」の集計結果分析